

大切な家族に「食の安全・安心」を

# ヨコレイ NOTE VOL.16

第69期中間報告書

平成27年10月1日～平成28年3月31日

ごあいさつ・財務ハイライト P1

What's ヨコレイ VOL.4 P2  
アライアンスシーフーズのグローバル提携戦略

営業の概況・事業別の概況 P3

中間連結財務諸表(要約) P4

会社情報 P5

シリーズ企画 P6  
世界の食事情④ 国際水産物の輸出



# What's ヨコレイ

VOL.4  
アライアンスシーフーズの  
グローバル提携戦略 編

## 「人」に「もの」に「地球」に “優しい” 食品流通のエキスパート

平成27年12月に、横浜冷凍株式会社の社長に就任いたしました西山でございます。株主の皆さまには、日頃のご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

第69期中間期(平成27年10月1日から平成28年3月31日まで)の経営環境は、企業収益や雇用・所得環境の改善が進み、景気はゆるやかな回復基調で推移しました。しかしながら中国経済の減速や新興国をはじめとする世界経済の下振れリスクにより、今後の国内景気への影響が懸念されています。

冷蔵倉庫事業は、当月初から続く好調な荷動きにより、畜産品や冷凍食品を中心に高い在庫水準を維持し、計画通りに推移しました。食品販売事業は、一部の畜産品が相場下落により損失を計上しましたが、適正な在庫水準による堅実な販売に取り組んだこと、および連結子会社(株)アライアンスシーフーズの海外事業が軌道に乗ってきたことにより、全体の収益は回復しております。

当社グループは、平成26年10月にスタートさせました第五次中期経営計画「Flap The Wings 2017」(3カ年)に基づき、冷蔵倉庫事業では「“COOL”ネットワークのリーディングカンパニー」を目指し、食品販売事業では「安定的な利益追求を基本としながらも、強みのある商材を全社的に展開する」ことを命題として、事業運営方針の各施策に注力しております。

株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **西山 敏彦**

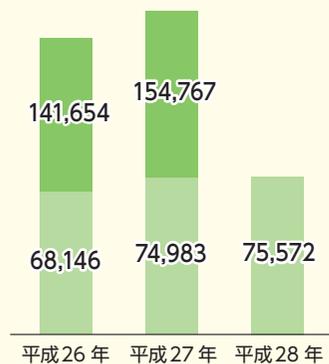
アライアンスシーフーズは、当社グループの海外戦略窓口として機能する水産商社です。グローバルマーケットを舞台に、安全・安心でおいしく高品質な水産物を買付けています。また、中国やタイ、ベトナムでは、ネットワークを通じて多種多様な水産加工品を製造しています。海の幸を世界中の食卓にお届けするために、アライアンスシーフーズの挑戦は続きます。



### 財務ハイライト

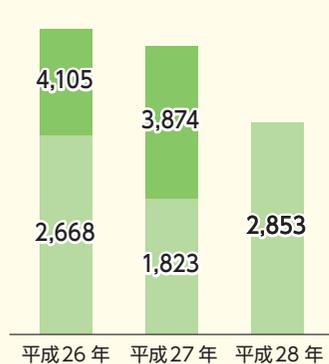
#### 売上高 (百万円)

■ 中間 ■ 通期



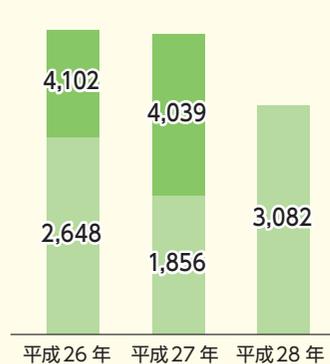
#### 営業利益 (百万円)

■ 中間 ■ 通期



#### 経常利益 (百万円)

■ 中間 ■ 通期



#### 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益(百万円) / 1株当たり当期純利益(円)

■ 中間 ■ 通期 ● 1株当たり当期純利益



# 上質なサーモンを食卓に！ヨコレイのグローバルビジネス

## ノルウェー大手水産加工会社「ホフセスグループ」との業務提携

### 最高品質のサーモン製品を 欧米向けに販売

アライアンスシーフーズは、2015年8月に締結したノルウェーの大手水産加工会社、**ホフセス社**との資本・業務提携を通じて、アトランティックサーモンの加工品を欧米の大手量販店向けに輸出販売しています。ノルウェー産のサーモンは、とろけるような食感と脂がのった濃厚な味わいが特長です。

2016年3月には、ホフセス社の子会社で水産加工工場を保有するSyvde Eiendom ASの全株式をアライアンスシーフーズが取得し、協業体制をさらに強化しました。

### 人気のサーモンハラスを 日本国内向けに独占販売

「とろサーモン」とも呼ばれるサーモンハラスは、回転寿司のネタなどに使われる人気の高い部位ですが、1匹から採れる量が少なく、安定した調達が大変難しくなっています。

アライアンスシーフーズはホフセス社との提携により、同社製サーモンハラスの日本国内向け独占販売権を取得し、サーモンハラスの安定供給を実現しました。この他にも、ホフセスグループのサプリメント製品を取り扱う株式会社HFSアライアンスの共同設立など、両社による協業の幅を拓けています。



#### ホフセス社とは？

ホフセスインターナショナル (Hofseth International AS) は、2008年に設立されたノルウェーの大手水産加工会社です。冷凍加工やスモークサーモンなどの燻製製造を中心に事業を展開しており、その優れた品質は、世界中で高い評価を受けています。



アライアンスシーフーズとホフセス社の  
包括的業務提携に関する調印式 (2015年8月24日)



サーモンには、中性脂肪や悪玉コレステロールを抑えると言われる  
オメガ3脂肪酸 (EPA・DHA) が豊富に含まれています。



Syvde Eiendom ASの保有する工場の一つHofseth Syvde工場



# 営業の概況・事業別の概況



## 営業の概況

### 当中間期の概況

食品関連業界は、原材料価格の高騰などに伴う価格改定により収益面の改善が進むも、個人消費は依然として足踏み状態。

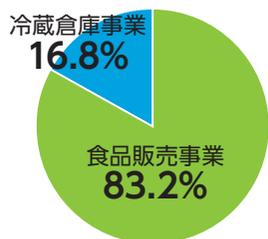
冷蔵倉庫事業は、当期中から続く好調な荷動きにより、畜産品や冷凍食品を中心に高い在庫水準を維持し、計画通りに推移。

食品販売事業は、一部の畜産品が損失を計上するも、適正在庫水準による販売の推進や、(株)アライアンスシーフーズの海外事業が伸展したことで、全体の収益は回復。

### 事業別売上高構成比

当中間期 (平成28年3月期)  
売上高合計

**75,572**百万円



### 今期の見通しと業績予想

冷蔵倉庫事業は、引き続き荷動きが好調に推移し、在庫水準を維持すると見込んでいます。また食品販売事業は、適正在庫水準を維持しつつ利益を確保し、海外事業も順調に推移するものと思われます。以上を前提に、通期の連結業績については、下記の通り従来予想を継続します。

売上高	1,600	億円
営業利益	50	億円
経常利益	50	億円
親会社株主に帰属する当期純利益	31	億円
1株当たり当期純利益	59	円91銭

## 事業別の概況

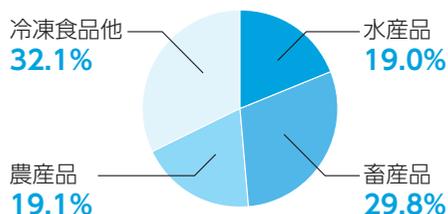
### 冷蔵倉庫事業

近年立ち上げた物流センターのフル稼働とともに、中期経営計画の主要施策に掲げた「全国ネットワーク化」による戦略的な広域営業が奏功。物流センター立ち上げの臨時経費は減少。

入庫取扱量は前年同期比で約38千トンの増加、出庫取扱量は同約41千トンの増加、平均保管在庫量は同約165千トンの増加。

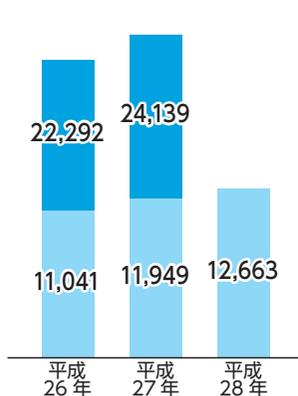
当事業の業績は、売上高12,663百万円(前年同期比6.0%増)、営業利益3,263百万円(同28.5%増)の増収増益。

### 当中間期入庫量品目別割合



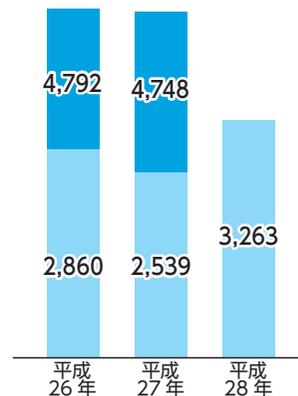
### 売上高

■ 中間 ■ 通期 (百万円)



### 営業利益

■ 中間 ■ 通期 (百万円)



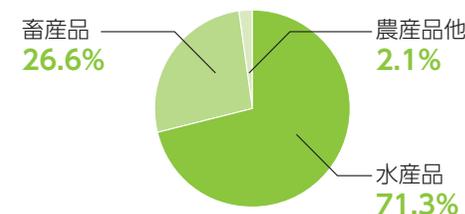
### 食品販売事業

水産品は、ホフセス社との提携によるアトランティックサーモン事業が順調に伸展し、鮭鱒類が大幅な増収増益。エビも回転率重視の商売を徹底することで利益率を改善し、増収増益。

畜産品は、チキン相場的大幅下落などにより、減収減益。農産品は、馬鈴薯と玉葱の取扱量を増加させ、増収増益。

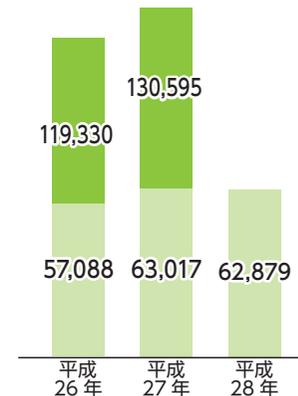
当事業の業績は、売上高62,879百万円(前年同期比0.2%減)、営業利益678百万円(同157.4%増)と大きく利益改善。

### 当中間期品目別売上高構成比



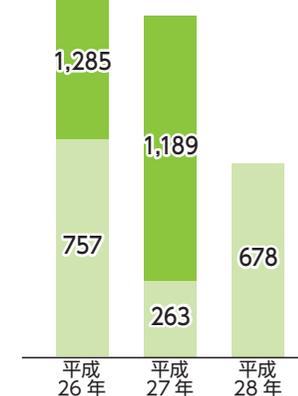
### 売上高

■ 中間 ■ 通期 (百万円)



### 営業利益

■ 中間 ■ 通期 (百万円)

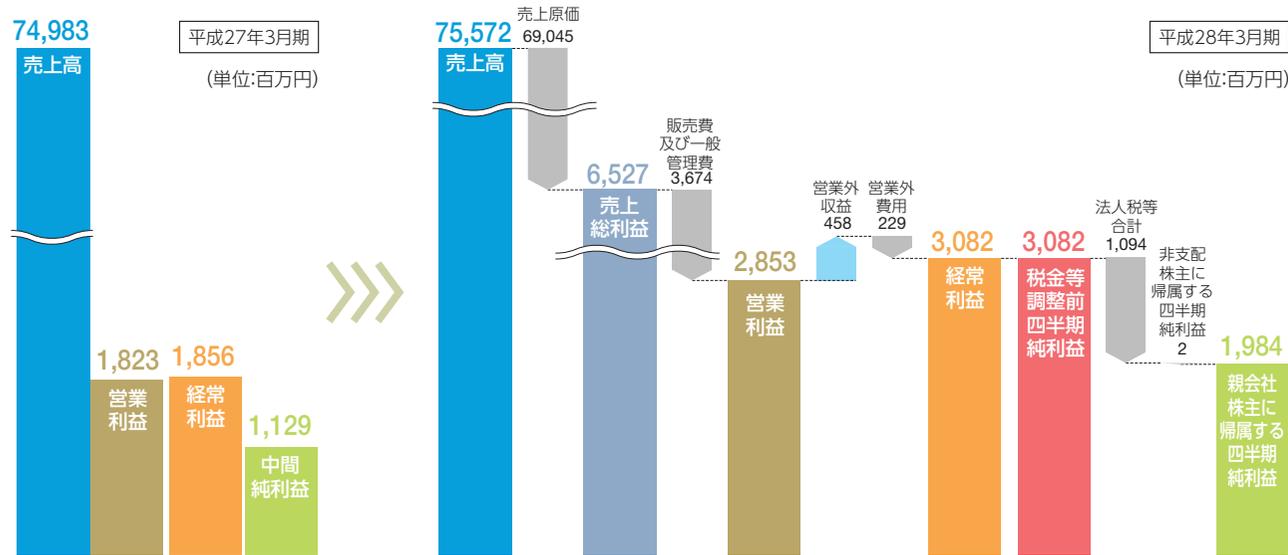


# 中間連結財務諸表(要約)

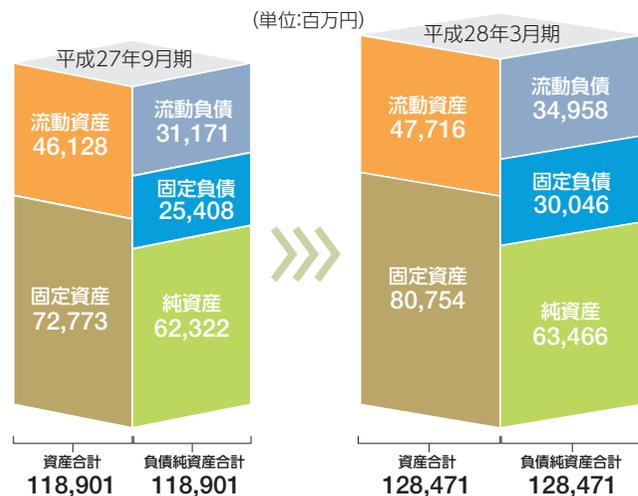


## 中間連結財務状況

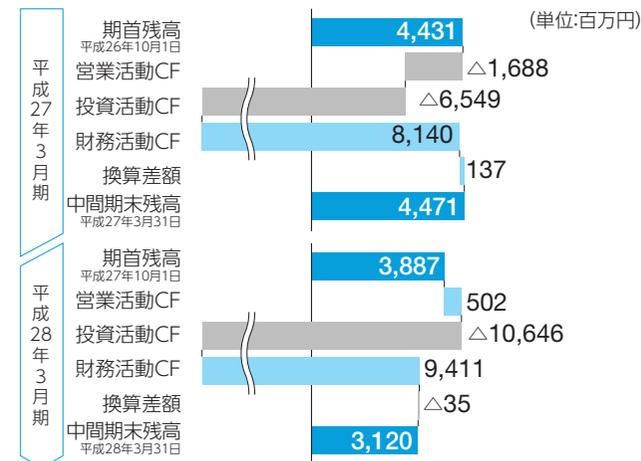
### ◆ 損益の状況



### ◆ 資産・負債・純資産の状況



### ◆ キャッシュ・フローの状況



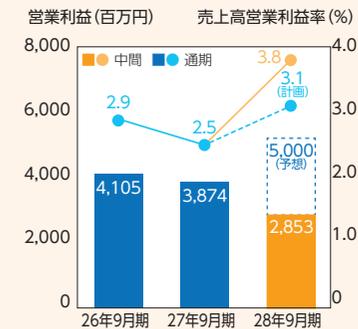
## POINT 1 EBITDA 100億円に向けて前進

EBITDA（減価償却前営業利益）は、投資の償却負担を除いた収益性を見る指標です。第5次中期経営計画では、最終年度の平成29年9月期における「EBITDA 100億円」を目標に掲げております。当中間期では49億6百万円となりました。



## POINT 2 通期の営業利益率上昇に期待

売上高に対する営業利益の割合は、前期の2.5%から当期は3.1%への改善を見込んでいます。第2四半期までの数値は、食品販売事業の利益が大きく回復したことにより3.8%まで上昇しております。引き続き通期における計画のクリアを目指します。





## 会社概要 (平成28年3月31日現在)

会社名 横浜冷凍株式会社  
 本社所在地 〒220-0012  
 横浜市西区みなとみらい四丁目6番2号  
 みなとみらいブランドセントラルタワー7階  
 TEL: 045-210-0011 (代表)  
 FAX: 045-210-0018

設立 昭和23年5月13日

資本金 11,066,426,625円

従業員数 連結 1,377名 単独 1,019名

業務内容 1. 冷蔵倉庫業並びに普通倉庫業  
 2. 水産品の加工、販売並びに輸出入  
 3. 農畜産物の加工、販売並びに輸出入  
 4. 不動産賃貸業  
 5. 通関業  
 6. 貨物利用運送事業並びに貨物自動車運送事業  
 7. 食堂及び喫茶店の経営並びに飲食物の販売  
 8. その他前各号に付帯関連する一切の事業  
 (定款における事業目的)

## 役員および執行役員 (平成28年3月31日現在)

代表取締役会長	吉川 俊雄	常勤監査役(社外)	田中 明彦
代表取締役社長	西山 敏彦	常勤監査役(社外)	阿部 博康
常務取締役	岩渕 文雄	監査役(社外)	棚橋 栄蔵
常務取締役	井上 祐司	監査役(社外)	西元 徹也
取締役	松原 弘幸	執行役員	飯島 敏正
取締役	千田 重賢	執行役員	岩倉 正人
取締役	越智 孝次	執行役員	藤五 俊治
取締役	花澤 幹夫	執行役員	安田 正美
取締役	池田 浩人	執行役員	車谷 哲男
取締役	野崎 博嗣	執行役員	内山 卓爾
取締役(社外)	加瀬 兼司	執行役員	吉田 豊
取締役(社外)	酒井 基次	執行役員	古瀬 健児
		執行役員	鈴木 大介

## ネットワーク (平成28年4月1日現在)

### 冷蔵倉庫事業 43拠点

#### 北海道・東北ブロック

十勝物流センター  
 十勝第二物流センター  
 石狩物流センター  
 石狩第二物流センター  
 喜茂別物流センター  
 八戸物流センター  
 気仙沼冷凍工場  
 仙台物流センター

#### 関東ブロック

加須物流センター  
 加須第二物流センター  
 鶴ヶ島物流センター  
 伊勢原物流センター  
 東京物流センター  
 東京第二物流センター  
 大黒物流センター  
 横浜物流センター  
 子安物流センター  
 山内物流センター

#### 中京・東海ブロック

沼津物流センター  
 大井川物流センター  
 小牧物流センター  
 名古屋物流センター  
 中川物流センター

#### 阪神ブロック

夢洲物流センター  
 北港物流センター  
 舞洲物流センター  
 西淀物流センター  
 神戸物流センター  
 六甲物流センター

#### 九州ブロック

福岡物流センター  
 箱崎物流センター  
 鳥栖物流センター  
 鳥栖第二物流センター  
 唐津冷凍工場  
 長崎冷凍工場  
 佐世保冷凍工場  
 都城物流センター  
 都城第二物流センター  
 志布志物流センター  
 鹿児島物流センター  
 川辺物流センター  
 枕崎冷凍工場  
 山川冷凍工場

### 食品販売事業 20拠点

十勝営業所  
 札幌営業所  
 八戸営業所  
 気仙沼冷凍工場  
 仙台営業所  
 茨城営業所  
 銚子営業所  
 東京営業所  
 畜産営業部  
 畜産営業部大阪営業所  
 沼津営業所  
 名古屋営業所  
 大阪営業所  
 福岡営業所  
 松浦駐在  
 唐津営業所  
 長崎営業所  
 佐世保冷凍工場  
 枕崎冷凍工場  
 鹿児島駐在

### 連結子会社

株式会社アライアンスシーフーズ  
 株式会社クローパートレーディング  
 Thai Yokorei Co.,Ltd. (タイ)  
 ワンノイ物流センター  
 ワンノイ物流センター2号棟  
 パンパコン物流センター  
 パンパコン第2物流センター  
 サムロン物流センター  
 Best Cold Chain Co.,Ltd. (タイ)

### 非連結子会社

株式会社グローバルエイジェンシー  
 パックス冷蔵株式会社  
 Yokorei Co., Ltd. (タイ)  
 Syvde Eiendom AS (ノルウェー)

## 株式の状況 (平成28年3月31日現在)

発行可能株式総数 ..... 160,000,000株  
 発行済株式の総数 ..... 52,452,021株  
 株主数 ..... 11,870名

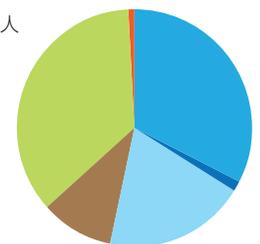
### 大株主(上位10名)

大株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,355	4.51
第一生命保険株式会社	2,205	4.23
株式会社横浜銀行	2,176	4.17
農林中央金庫	1,473	2.82
株式会社八丁幸	1,411	2.70
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,216	2.33
横浜冷凍従業員持株会	1,140	2.18
株式会社松岡	1,034	1.98
株式会社サカタのタネ	1,022	1.96
横浜振興株式会社	892	1.71

(注) 持株比率は自己株式(333,367株)を控除して計算しております。

### 所有者別株式分布状況

■ 金融機関 17,157千株 32.7%	■ 外国法人・外国人 5,222千株 10.0%
■ 金融商品取引業者 635千株 1.2%	■ 個人・その他 18,902千株 36.0%
■ その他の国内法人 10,200千株 19.5%	■ 自己名義 333千株 0.6%



## 海外で人気を集める日本の水産物

海に囲まれ、豊富な魚介類に恵まれた我が国。今、安全・安心でおいしい日本産食品が世界中から注目を浴びており、水産物も輸出を拡大しています。

その動向をチェックしてみましょう。

### ■輸出金額トップはホタテ貝、その理由は？

近年、日本の農林水産物は輸出を拡大しています。2014年の輸出額合計は、前年比11.1%増の6,117億円に達し、過去最高となりました。このうち農産物は3,569億円(前年比13.8%増)、水産物は2,336億円(同5.4%増)と、いずれも成長を示しています。かつて日本の食べ物は割高と捉えられていました

が、最近では特にアジアにおいて新興国の生活水準が向上し、それとともに日本産食品のニーズが高まってきました。

輸出品目を見ると、金額のトップはホタテ貝で446億円(同12.1%増)と4年連続で成長しています。ホタテ貝の仕向国別輸出金額シェアは、米国と中国がそれぞれ約3割を占め、ベトナム、香港、韓国、台湾がそれに続きます。

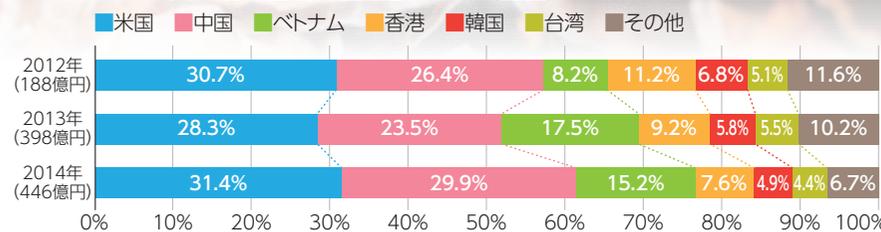
海外生産国の漁獲量が減少する中、日本産ホタテ貝の人気は、食に対する安全性や品質・味が評価されていることが一因

と見られます。また貝柱が大きいことや、生質を吊るす生育方法で砂を咬まないようにしていることなどが、日本産ホタテ貝の人気につながっています。

その他の水産物では、かつお・まぐろ類、さば等が輸出金額の上位を占める品目となっています。

農林水産省は、2020年までに農林水産物の輸出額を1兆円に伸ばす目標を掲げています。今後ますます多くの日本産食品が、世界中の食卓を彩るようになるでしょう。

■ホタテ貝の仕向国別輸出金額シェア(全国)



出典：函館税関資料「はたての輸出」2015年

### クローズアップ！ ヨコレイLADY



### 円滑な食品物流を日々サポート。 フォークリフトの運転は安全第一です。

2015年4月の入社から加須第二物流センターの配属となり、1年が経ちました。入社前の就職活動は、食に携わる企業を中心に応募し、身体を動かせる現場勤務を希望していました。ここでの仕事内容は、主に荷捌き場での入出庫の立会いで、貨物の品目・個数の照合や消費期限のチェックなどを行っています。当センターでは、冷凍食品や食品原材料を中心に幅広い貨物を扱っており、繁忙期には1日約100台のトラックが発着します。上階の倉庫とトラックの間を結ぶ荷捌き場では、多くの貨物を滞留させず、スムーズかつ確実に受け渡していくことが求められます。

また時には、私もフォークリフトを運転し、積み込み作業を行うことがあります。はじめの頃はレバー操作の難しさに戸惑いましたが、次第に慣れ、9月に全

社開催された「フォークリフト安全全国大会」では、当センターの代表選手として地区予選を通過し、本選に出場しました。女性社員の本選出場は5年ぶりだそうです。緊張する中、制限時間内での安全運転と正確な操作技術が審査され、残念ながら上位入賞は果たせませんでした。出場までの練習などを通じて多くの学びが得られた経験でした。

私の現場は、連携によって貨物の円滑な流れを支えており、日々の物流に寄与する仕事として大きなやりがいを感じています。私自身はまだまだ能力を高めていきたいと思ひますし、今後もっと全体を見て役割を果たせるように、倉庫や事務所での仕事も経験したいと考えています。ヨコレイは、日本全国そして海外タイにも物流センターがあるので、さまざまな現場を見たいという夢を持っています。





ヨコレイくん

## 引き続き物流センターを新設、収容規模を拡大

2015年5月、北海道河西郡芽室町に設立する「十勝第三物流センター（仮称）」の建築工事を開始しました。竣工は2016年8月の予定です。隣接の2センターを含む3センター合計の収容能力は61,000トンを超え、北海道内で最大級の低温物流基地となります。

また都内では2015年12月、大田区京浜島に設立する新物流センターの用地10,900㎡を取得しました。東京港や羽田空港に近接した国内最大の貨物集積地であり、今後のフリートレード時代を見据えた戦略拠点としての運営を計画しています。福岡でも冷蔵倉庫建設用地として土地取得を決定しました。

一方、埼玉県幸手市では、首都圏の物流網を広域にカバーする圏央道へのアクセスを活かすべく「幸手物流センター（仮称）」の新設を決定し、2017年の完成に向けて今春工事を開始しました。



十勝第三物流センター（仮称）完成予想図



幸手物流センター（仮称）起工式の様子

## 株主還元方針

### ■ 配当方針

当社は、株主の皆さまに対する利益還元の実施を重要な経営課題の一つとして認識し、安定的な配当を継続して行うことを基本方針としています。企業価値向上に必要な設備・IT投資等を勘案しつつ、1株当たりの年間配当20円を維持していくことを目標としています。

1株当たり年間配当金  
**20円** (中間配当金 10円)

### ■ 株主優待

当社は、株主の皆さまからのご支援に対する感謝とヨコレイグループの事業内容をご理解いただくため、年1回、ヨコレイグループ取扱商品を以下の基準でお届けいたします。

**対象株主** 毎年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された1,000株以上保有の株主さま。

**実施時期** 11月下旬から発送を予定しています。

#### (1) 1,000株以上～3,000株未満保有の株主さま

「ノルウェーサーモン詰合せ」※2015年実績  
アトランティックサーモン切身皮付き(約450g)  
アトランティックサーモン切身皮無し(約450g)  
スモークサーモン(50g×3パック)



#### (2) 3,000株以上 保有の株主さま

「北海道産のホタテ・いくらセット」  
いくら醤油漬(500g)、  
生食用ホタテ貝柱(1,000g)



## 株主メモ

事業年度	10月1日より翌年9月30日まで
定時株主総会	12月 定時株主総会の議決権 9月30日
基準日	剰余金の期末配当 9月30日
	剰余金の中間配当 3月31日
	その他必要があるときは、あらかじめ公告した日
電子公告	電子公告
公告の方法	※電子公告は当社ホームページに掲載します。なお、やむを得ない場合は日本経済新聞に掲載します。 http://www.yokorei.co.jp/irnews/
単元株式数	100株
上場取引所	東京証券取引所(第1部)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話：0120-232-711 (フリーダイヤル)

### (ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ホームページのご紹介

▶ <http://www.yokorei.co.jp/>

ヨコレイのホームページでは当社の最新ニュースや事業紹介に加え、IR情報が一目でわかるIR情報インデックスや財務ハイライトなど、個人投資家の皆さまに当社を深くご理解いただけるよう、様々なコンテンツを掲載しております。また、食の安全・安心や環境、社会貢献活動などのCSRの取り組みをご紹介します。ヨコレイでは、今後もさらにわかりやすく、充実したホームページを目指してまいります。



TOPページ

IRページ

